北海道・旭川は 夏の真っ盛りです
雨の日でも多くなった 来園者の皆さん！

ASAHIYAMA Zoo

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

園内の飼育展示・手作り案内板などすべてが学習になるよ！

子どもからお年寄りまで楽しみながら学んでいます！

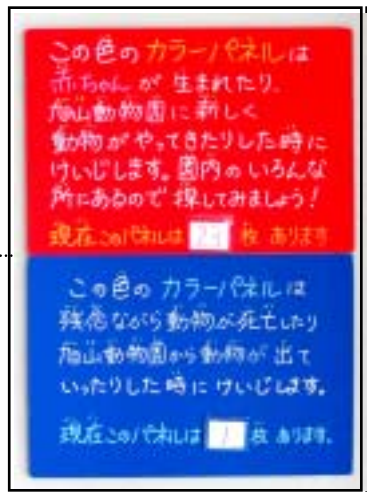
春の遠足や運動会も終わり、各学校では一学期の学習活動に力が入り、動物園の出張授業の希望校も多くなっています。

動物の絵を描きに来る写生会の低学年の子どもたちや動物観察学習でガイドをしてもらっている中学年の子どもたちなど、そして、高学年では飼育体験学習を求めてくる学校なども見られます。

動物園では、少しでも多くの来園者に楽しみながら自然や環境の大切さに気づいてもらうことを目標にして、手作りの各種パネルを掲示しています。

旭山動物園の教育活動は！

ふむふむパネルのほか 各種の手作りガイド



和人による北海道の開拓が進められるまで、アイヌの人たちが自然とともに暮らして来た考え方・行い・動物をどのように見ていたかを知るために、アイヌの人々がつけた動物名をパネルにして掲示しています。動物名の由来を知ると動物たちをとっても詳しく観察していることが良く分かります。

また、赤いパネル（現在23枚）は、赤ちゃんが生まれたり、旭山動物園に新しく動物がやって来たりしたときなど、うれしい出来事のお知らせとして掲示します。青いパネル（現在1枚）は、残念ながら動物が死んだり旭山動物園から動物が出て行ったりしたときに掲示します。

それぞれのカラーパネルを楽しみながら探して読んでみてください。

今から計画を！

夏休みの自由研究は？

みなさん夏休みの過ごし方は考えて見ましたか？　少しはやすぎるでしょうか？

夏休みの自由研究は動物園で見つけてみませんか。自分なりに考えたこと・調べたこと・観察して分かったことなど、まとめることの出来るテーマはたくさんあります。

友だちと一緒に、一日いっぱい動物園で楽しく過ごしながら自由研究が出来そうですね！

・ふしぎ発見・なにか見つけてね！（No. 24）

（飼育展示係の人をさがして聞いてみてください！）

カバ（偶蹄目・カバ科）

生息地＝アフリカ

食べ物＝主に夜間、陸上の開けた草原で、丈の低い数種のイネ科の草本だけを大きな口で引き抜くようにして食べます。

冬も元気に過ごしていた
ザブコとナミコ

その他＝生息環境ですが、夜は草原。日中は沼や川・湖です。採食は夜間に5～6時間、集中して行い、残りの時間は水の中で過ごします。食べる量は、一晩に平均40kgです。乾した重さになおすと体重の約1％で、とても少ないのです。ちなみにカバの体重は2500～3500kgぐらいです。

附属旭川小学校での出張授業

六月十日、附属旭川小学校一年生の教室へ「ヤギ」1頭・「ウサギ」2頭・「ポーリッシュ」1羽・「ハリネズミ」1頭・アオダイショウ2頭を運び込んで授業をしてきました。

命を実感することを目的として、人間以外の動物に関心を持ってもらうための授業です。

・絵本や図鑑でしか見たことのない子どもたちのうれしそうな表情がとても印象的でした。

右の写真は、恐る恐るアオダイショウに触ってみる子どもたちと、すっかりなれて自分の首にかけられる子どもたちです。

皆さんたちの学校ではどのようにして生きものについての勉強をしていますか？